

福井市中央卸売市場経営戦略（概要版）



1 策定の目的

第七次福井市総合計画を踏まえつつ、「地球上の誰一人として取り残されない社会」の実現を目指す国際社会共通の目標であるSDGs（エスディーズ）の理念に沿った観点から、中長期における福井市中央卸売市場（以下「福井市場」という。）のあるべき方向性を明確にし、その方向性に基づきハードとソフトの両面から市場の機能を強化するとともに、健全な市場運営を継続するため、前計画である福井市中央卸売市場中長期プラン（以下「中長期プラン」という。）を見直し、総務省のガイドラインに沿って新たな経営戦略を策定する。

2 計画期間

令和3年度から令和12年度までの10年間とする。なお、社会情勢等の変化に柔軟に対応するため、必要に応じて戦略の見直しを行う。

3 福井市場の課題

経営戦略策定にあたり、福井市場を取り巻く状況、中長期プランの検証、アンケート（卸、仲卸、出荷者、量販店を対象）結果等から、福井市場の課題を次のようにまとめた。

卸売市場の機能強化
 集荷力向上（i）
 流通の効率化や活性化（ii）
 事業領域や販路の拡大（iii）
 市場内事業者の経営基盤強化（iv）

市場運営のあり方
 市場施設の長寿命化・有効活用（v）
 市民に親しまれる市場（vi）
 市場財政の健全化（vii）
 市場内事業者の事務負担軽減（viii）

4 福井市場の将来展望

(1) 基本的な方向性

機能強化及び運営のあり方に関する課題に対して解決を目指すべく、今後の福井市場の基本的な方向性について、国の新基本方針等も踏まえ、以下のとおり定めた。

- ① 中央卸売市場機能の維持（課題 i・iv）
- ② 高い公共性の担保（課題 i・iv）
- ③ 川中としての市場の機能強化（課題 ii・iii・v）
- ④ 市場施設の機能の確保（課題 v）
- ⑤ 福井市場の特色を活かした取り組みの推進（課題 vi）
- ⑥ 市場財政の健全化と事務負担の更なる軽減（課題 vii・viii）

(2) 基本目標

基本的な方向性を踏まえ、前計画である福井市中央卸売市場中長期プランの2つの柱と6つの基本目標を継続する。

ア 魅力的な市場
 食の安全・安心への対応
 環境にやさしい市場の実現
 市民に開かれた市場の実現

イ 機能的な市場
 中央卸売市場の機能維持
 物流の効率化・販売力の強化
 施設の長寿命化と有効活用

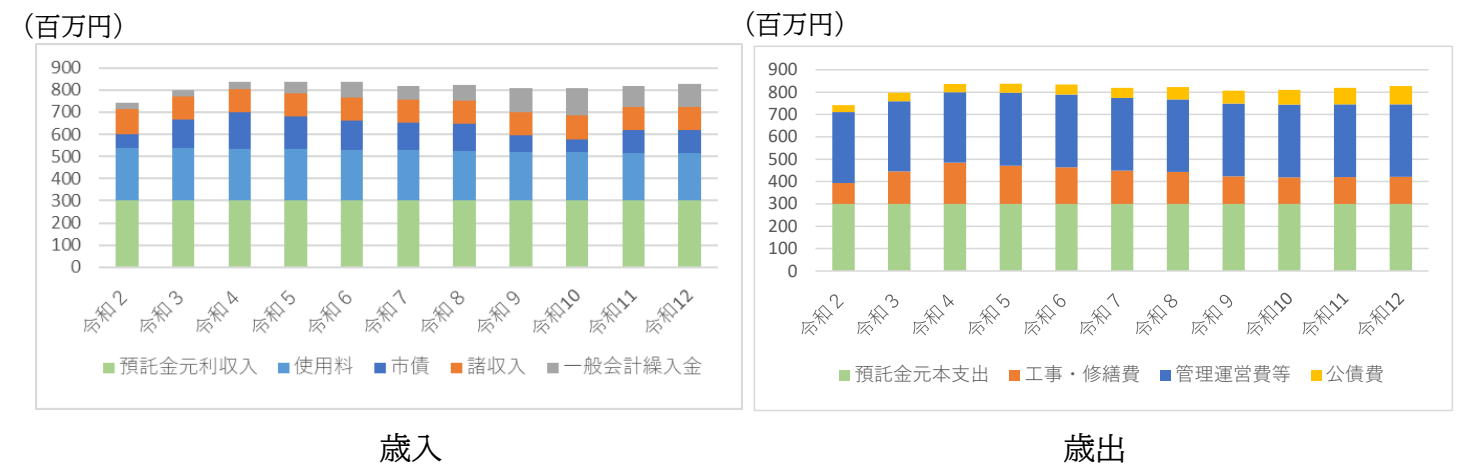
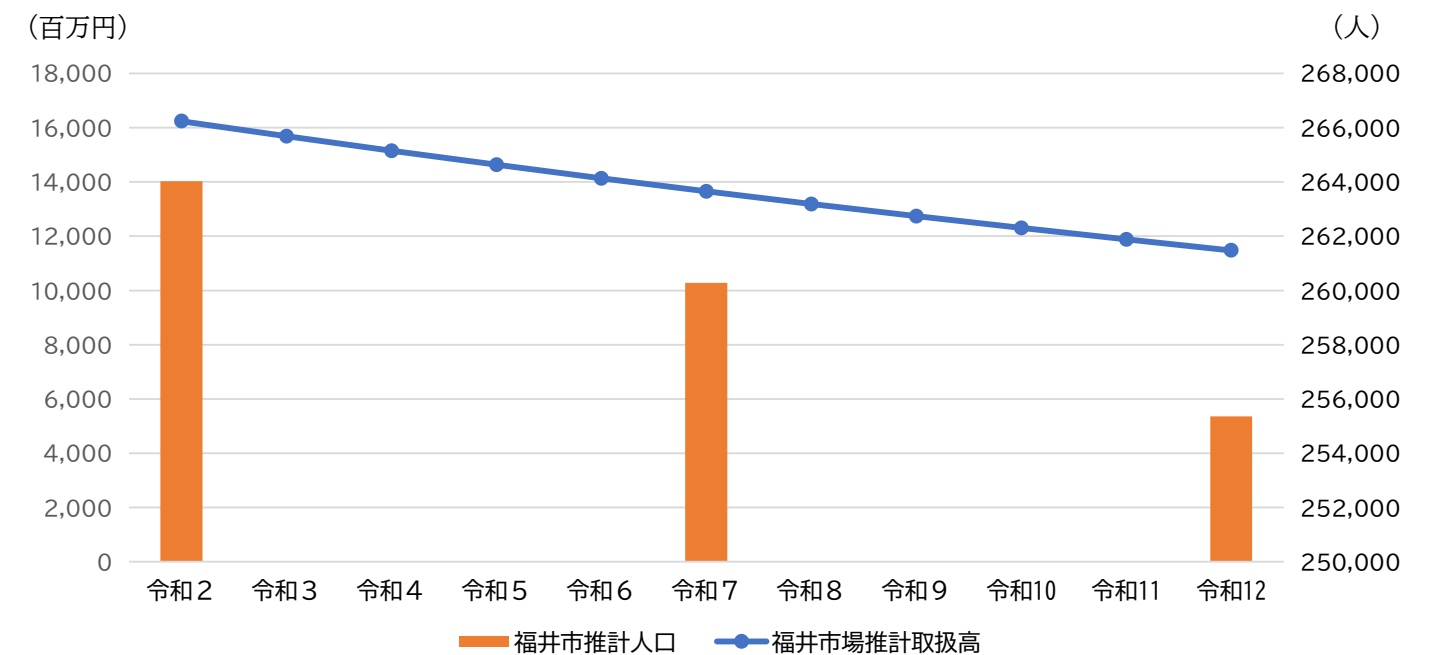
(3) 今後の主な取り組み

経営戦略における取組内容については、中長期プランにおける33項目の取組内容を28項目に整理・集約した。（7項目を削除し、2項目を新設）

- ア 魅力的な市場（本編31頁～33頁。☆が追加・拡大した行動計画）
 ☆インバータ制御機器への切替促進による省エネルギーの推進 など
- イ 機能的な市場（本編34頁～36頁。☆が追加・拡大した行動計画）
 ☆卸売業者への業務検査の実施による公共性の担保 など

(4) 収支計画

本市人口が減少すると予測されることから、本市場の取扱高も減少傾向となると見込まれるなかで、今後10年間における1年あたりの平均収支については約821百万円を見込み、市民への生鮮食料品等の安全・安心かつ安定した供給という市場の公的な役割を維持する戦略とする。



(5) 推進体制等

経営戦略の着実な推進のため、附属機関である福井市中央卸売市場運営協議会で審議しながら、進捗管理を行う。また、年度ごとの進捗状況をHP等で公表する。